



# 看護部だより

第105号  
令和2年8月21日  
国際医療福祉大学病院 看護部



## 実地指導者と新人看護師の皆さんにインタビュー♪

### A棟3階病棟

**実地指導者：佐藤 裕奈（右）** 実地指導者としてまだまだ未熟ですが、新人さんの長所を伸ばせるような指導を目指し日々精進していきたいと思ひます。これからも初心を忘れず、共に成長していきたいです。

**新人看護師：恩地 佑香（左）** 看護師1年目として、まだまだ知識不足なところが多く、悩むこともあります。毎日の復習を欠かさず行い自分のスキルアップに繋げていきたいです。実地指導者の先輩と一緒に頑張っていきたいと思ひます。



### A棟4階東病棟

**実地指導者：山口 礼徳（左）** 今回、実地指導者として新人教育を任されました。看護師は日々の学びが多く、やりがいのある仕事です。新人の山中さんが思い描く看護師になれるよう、共に頑張っていきたいと思ひます。

**新人看護師：山中 愛香（右）** 教えていただいたことを一つ一つ自分のものにし、成長できるように頑張ります。



### A棟4階西病棟

**実地指導者：岡本 悠花（左）** 新人さんと共に積極的に学習し、多くの知識・技術を学べるようにしていきたいです。また、新人さんの心の支えになれるよう、相談しやすい環境作りができるようにしていきたいと思ひます。

**新人看護師：相野谷 瞬（右）** 自ら積極的に疾患や看護技術の学習に励み、患者様お一人お一人の状態に合わせた看護が提供できるように頑張ります。



## 医療機器機工エキスパートナース研修(レベルⅢ)



令和2年5月21日(木)、5月26日(火)に医療機器エキスパートナース研修(レベルⅢ)が行われました。輸液ポンプ・シリンジポンプ・人工呼吸器・心電図モニター装着に関する正しい取り扱い方法について筆記試験・実技試験を行い、後輩に指導できるよう医療機器の正しい取り扱い方法を再確認しました。

### 皮膚・排泄ケア認定看護師

皮膚・排泄ケア認定看護師とは、WOCと呼ばれるように3領域の分野を専門としています。Wとは、Wound(創傷)で、健康な皮膚を維持するためのスキンケアを行います。また、創傷がある方に対しては創傷が治りやすい環境を整え、創傷の治癒促進をはかります。Oとは、Ostomy(ストーマ)のことで、ストーマを持つ方、これから手術を受けられる方に対して、ストーマ管理、ストーマ装具選択、日常生活のアドバイス、精神的なサポートなどを行います。最後にCとは、Continence(排便・排泄の調節機能を回復すること)です。便、尿失禁に伴う機能の改善を促すケアです。失禁に対する排泄管理、失禁による皮膚のかぶれなどの改善と予防を行います。当院では、褥瘡回診、スキンケア外来の業務を行っています。



皮膚・排泄ケア認定看護師  
内山 由香子

### 病棟で働くママさん看護師

子育てをしながら仕事をする上で、職場環境はとても大切だと感じています。子どもが急に熱を出して早退させていただくこともあります。病棟の師長さんやスタッフの皆さんが理解してくださり、嫌な顔をせず協力してくださいませ。休日は、子どもと一緒に公園や牧場へ行ってリフレッシュしています。子どもの笑顔や寝顔を見ると疲れが吹き飛び、頑張ることができます。



A棟3階病棟 関根 美恵子

現在、育児短時間制度を活用させていただきながら仕事をしています。時間で帰ることができるように病棟の皆さんが協力してくださるので、とても助かっています。仕事の日と休日は気持ちを切り替えることで、仕事と家事・育児を両立することができます。



A棟4階西病棟 木村 瞳

### 編集後記

今回も多くの方にご協力いただき、無事に夏号を発行することができました。皆様のご協力に感謝いたします。これからも沢山の皆さまに興味を持って読んでいただける看護部だよりをお届けしたいと思います。今後もよろしくお願いたします。

看護部だより編集委員会

A棟4階西病棟 岡本 悠花・A棟4階東病棟 守岡 七恵・A棟3階病棟 佐藤 裕奈

